

平成 30 年 3 月 16 日

平成 29 年度第 4 回
いわき市食育推進委員会議事録

平成 29 年度第 4 回いわき市食育推進委員会 議事録

1 開催日時： 平成 30 年 3 月 16 日（金）14：00 ～ 16：00

2 開催場所： 総合保健福祉センター 3 階 健康学習室

3 議事案件及び発言内容等：

(1) 議事

① 平成 29 年度食育推進事業の実施報告について

委員長	はじめに、「平成 29 年度食育推進事業の実施報告について」事務局より説明をお願いします。
事務局	（「第 4 回いわき ♪わくわく ♪食育フェスタ！」について説明） ○ 別資料「いわき ♪わくわく ♪食育フェスタ！」により、事業目的・実施状況について、説明した
事務局	（「地産地消の取り組みと郷土料理の給食実施」について説明） ※学校支援課に代わり事務局から説明。 ○ 資料「地産地消の取り組みと郷土料理の給食実施」について実施報告により、学校支援課が実施している地産地消の取り組みや和食給食、中華給食について、事業目的・実施状況等を含めて説明した。
委員 M	（「食農食育教育の取り組み」について説明） ○ 資料「食農食育教育の取り組みについて」により いわき農林事務所で実施している食農応援メニュー等による食育活動、ふくしま食育実践サポート等の事業目的・実施状況等を含めて説明した。 （いわき農林水産ニュース 1 月号、2 月号により、説明） 1 月号は福島県及びいわき市の農林水産業に関する取り組み等の記載や第 1 回高校生レシピコンテストのグランプリ決定やいわき市の農業関係者のリレーインタビューを掲載している。第 47 回全国林業後継者大会をアリオスで開催する。 2 月号はいわきの農産物の P R 事業、いわき地域産業 6 次化ネットワーク交流会の開催、市内 2 か所の幼稚園で食育活動の実施について、報告した。

委 員 O	(「さかえ幼稚園における食育の取り組みについて」について説明) ○資料「食育だより」により、 食育に関するアンケートをみかん組、年少組、年中組、年長組ごとに 99 名の児童に対して行った。 心と身体の事業の一環でフレンチシェフに参観日に講演会を開催し、その後、食に関するアンケートを行った。 また、県からの食育指導員である管理栄養士の方に来ていただいて、恵方巻づくりの指導をいただいた。 平成 29 年度は外部の方の力を借り、今までと違った食育の取り組みとなった。 食に関するアンケート実施後、アンケート質問の他に自由記載の内容が、今後の活動に参考になった。 今後の食に関する課題について 1 専門家の知見をいただきながら、いろいろな問い掛けに対する答えを導き出していきたい。 2 子ども達だけでなく、保護者への食育に関する働きかけを行っていきたい。 の 2 点を取り組んでいければと思う。
委 員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

② 食育に関するアンケートについて

委 員 長	続いて、「食育に関するアンケートについて」事務局より説明をお願いします。
事 務 局	(「食育に関するアンケートについて」について説明) ○ 会議資料 1, 1-2 により、食育に関するアンケートに関する説明を行った。
委 員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委 員 N	食物アレルギーの項目で、資料 1 の問 19、資料 1-2 の問 11 の「食物アレルギーについて言葉や意味をしっているか」で知っていると考えている方が実は知らない場合が多いことから、この質問に意味があるのか。が 1 つ目。 その質問で、「知っていなかった。」と回答した場合の今後についての内容がない。できるなら、例として、「知っていなかった」場合、今後、「どういう情報を知りたいですか等」の内

	容を入れていただくよう検討していただきたい。
事務局	食物アレルギーについて、言葉は知っていても、意味までは知っているかということについて、事務局でも疑問視しているところである。意味を正確に把握しているかまでは、このアンケートでは分からないので、事務局で検討します。
委員長	他に質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)

③ 第3次食育推進計画（素案）について

委員長	続いて、「第3次食育推進計画（素案）について」ですが、各章のボリュームがあることから、章ごとに説明していただき、その都度、質疑とする。 それでは、第1章「計画の概要」について4、説明願います。
事務局	(「第3次食育推進計画（素案）」第1章「計画の概要」について説明) ○ 会議資料3により、「第3次食育推進計画（素案）」第1章「計画の概要」に関する説明を行った。
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)
委員長	続いて、第2章「計画の基本方針」について、説明願います。
事務局	(「第3次食育推進計画（素案）」第2章「計画の基本方針」について説明) ○ 会議資料2、2-2により、第3次食育推進計画（素案）」第2章「計画の基本方針」に関する説明を行った。
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委員 A	食の安全について、ノロウイルス等の食中毒が問題視される中、食する前の手洗い、うがい等に係る食育との関係についてどうなのか？
事務局	衛生的に食事をすることは大事であり、素案の12Pの(13)「食の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす」という指標で、衛生的な食品管理とあり、うがい、手洗い等も含んだ内容となっております。

委 員 G	素案 10 P の(3)について、区で共食を行う機会を設けるようにしたが、高齢者の方が公民館まで歩けない等の理由で、参加できないということがあったが、共食の場所に関する考え方はどうなのか。 また、食品ロスについて、市から冷蔵庫に残っているような消費期限が短い物の調理方法の具体例を出していただいて指導してもらった方がわかりやすいのではないかと考える。
事 務 局	共食の機会については、地域の公民館、集会所が会場になるかと考える。個人の自宅を貸していただければ、それも考えられるが、まずは公民館や集会所の地域の皆さんが集まれそうな場所が適切かと考える。地域包括ケア推進課でつどいの場という事業を展開しており、そこでも公民館等でお料理を食べるという取り組みを行っている。 食品ロスについて、残っている食材の活用を行うには、調理に関する情報提供が必要になってくると考える。 第3次食育推進計画策定後に残った食材を使用した調理レシピ等、機会を設けて、啓発していきたいと思う。
委 員 I	現在、単身世帯者が増えており、共食に関する取り組みを地域で行っていききたい考えである。高齢者は、食べることにストレスを感じている方がいるので、コミュニケーションしながら、ストレスを解消できるように食べていただくことが一番良いことであり、食育としても、とても良い取り組みであるので、実現できればと考える。
事 務 局	一人で食べると、ストレス等も多くなる人もいますので、共食の機会をつくることで、皆でおいしいものを食べて、ストレスを解消したり、また、活動量が増えて、いきいき生活できるようになっていければと思う。
委 員 E	素案の 16 P の学校に関する記述について、福島県教育委員会の食育指針で3つの大きな目的があり、1 食べる力、2 感謝の心、3 郷土愛を食育を通して、培っていくというものであるが、素案では、学校の食生活や食習慣というマニアックな感じで捉えがちであり、学校で目指しているものと内容が違っている。学校はもっと幅広いものであり、素案の狙いと学校の狙いの整合性が取れるようにしていただければと思う。
事 務 局	学校の取り組みについては、学校の栄養士と確認しながら、進めてきたところではありましたが、この件については、事務局で検討いたします。

委 員 N	若いお母さんの中で、食について偏った考え方の方がおり、例として、学校の牛乳を飲ませたくない等の話があることから、子供も同様に偏った考え方になっている場合がある。 望ましい食習慣として、偏らない・おいしい物が食べられるような食習慣をきちんと身に付けてもらう場所が学校でないといけないと考えるので、おいしいものを感謝していただく考え方は素敵なことであると思う。それと栄養に関しては、また別の話であるので、偏った食の考え方に対し、食べることに関する勉強を、学校でできるのではないかと。と思う。
事 務 局	望ましい食生活は大事なものであり、偏った考え方を是正するよう努力していなければいけないと思うが、思い込んでいる人にこちらの望ましい考え方を教えていくのは大変であると思う。しかし、望ましい食生活の普及啓発は重要であると思うし、やっていかなければと思う。
委 員 長	続いて、第3章「食育推進のための取り組み」について、説明願います。
事 務 局	(「第3次食育推進計画(素案)」第3章「食育推進のための取り組み」について説明) 会議資料2、2-3により、第3次食育推進計画(素案)」第3章「食育推進のための取り組み」に関する説明を行った。
委 員 O	素案の30Pの保護者の普及啓発で、いわき市立の保育所・幼稚園では行っているかと思うが、私立ではハードルが高い場合がある。今後、公立幼稚園等での取り組みを参考とし、機会があれば活用したいと考えており、できればそれを全私立幼稚園に寄与できるような状態にしたいとおもうので、参考にできる内容があれば、教えていただいて、今後、取り組んでいきたいと考えている。
事 務 局	今後、食育の取り組みの中で、公立、私立でできる、できないでは、全てのお子さんの情報等の不均衡が生じる恐れがあり、事務局では避けたいと考えているので、何らかの差がない形で取り組めるよう検討していきたい。
委 員 D	37Pの環境と共生で食品ロス削減について、市の備蓄品の期限切れの物について、食品ロスになると考えられるが、市として、それらを活用する計画があれば、市民の皆さんに対し、食品ロスについて、考えてもらうきっかけになるかと思う。まだ食品ロスについて、市民に浸透していないので、今後、イベント等を行うことで広く市民に伝わるのではないかと。と思う。 26Pの思春期・青年期における食育の推進で2)高校の授業における食育の推進について、第2次食育計画と同じ内容であることから、これは現在も継続していると考えられるが、どの

	学校に、どの内容で、どの程度行えていたか、把握しているか。 また、磐城農業高校や海星高校では食に関して、授業等で行っていると思うが、普通科の高校では、家庭科の授業がなく、食に関する知識を得る機会がないまま、そこから若いお母さんになった時に食に関する偏った考え方とか、調理のできない方が増えているのは、その辺りが原因ではないかと思うので、それらを含めて確認していければと思う。
事 務 局	市の備蓄については、賞味期限が切れているものの市の活用について、把握して、提示できるよう取り組んでいきたい。 高校生への取り組みについては、前に湯本高校で食育講演会と料理教室を行っていたが、全ての高校への周知はできていないが現状である。来年度はいわき総合高校から食育に関する話をしてほしいとの依頼があり、食習慣等のお話をする予定がある。 市ではないが、中島委員を代表とするいわき市健康推進委員の取り組みの中では、対象者を高校生等の世代に行う授業を行うことを取り組んでいる。 備蓄について、以前は乾パン等の備蓄品であったが、現在はお米や根菜類等の保存できるものを備蓄に回す流通備蓄としており、食品ロスに繋がらない方法での活用を広めていこうという動きがあるので、今後、備蓄と食品ロスについて、何かの機会に啓蒙できればと考えております。
委 員 長	最後に素案について、委員の皆さんから何かあれば一言いただければと思いますので、阿部委員からお願いいたします。
委 員 A	健康につながる食への教育を子どもが小さいときから、生活習慣に関して、家庭人として教育していかなければならないことを感じた。
委 員 B	去年の新聞で、「健康増進の県民運動」を県民の9割が知らないという記事が載り、当然、食育に関しても知らない方が非常に多いと思いますので、これから多くの皆さんに周知できるよう啓蒙活動をしていきたいと思います。
委 員 C	食に関して理解していないという案件で白い物（ご飯、牛乳、砂糖等）を絶対食べないという若い方がいるが、例えば、白砂糖は、精製方法によって、白くしており、精製具合によっては、赤くもしていることから、こういった間違いについて、食育の中で指導をしていけば良いのではと思いました。
委 員 D	第4回いわき♪わくわく♪食育フェスタ！のアンケートでは、20代の参加者が7人と全体の4%であり、20歳未満が全体の31%であるが、この層は両親と一緒に来たお子さんがほとんどであると考えられる。中学生までは給食があるので、栄養

	について、食育に関して手厚く見てもらえるが、高校生から社会人で結婚するまでの間が、食育として一番手薄になるところであると感じる。その間に生活習慣の基礎が出来てきて、40代で生活習慣病が出てくるのではないかと考える。しかも生活スタイルも各個人ばらばらであるが、まとまった支援がしにくいという面があり、難しいとは思いますが、いかに興味をもって、アプローチできるかが、一つのカギになるのではないかと考える。国の計画では若年層への取り組みがあるが、いわき市の計画ではそれが抜けており、余計手薄になりがちなので、そちらにも気を配りながら進めていってほしいと思います。
委員 E	食育に関して、義務教育の立場が重要な位置を占めており、子供たちの教育、保護者への啓蒙等、学校が一番できる場ではないかと考える。子どもたちが自分の意思で食環境を形成していく時期なので大切にしていきたいと考える。
委員 F	家庭で子供たちに食育を進めていきたいと思います。
委員 G	自分の店でいきいき iwaki 食育健康応援店に登録している。登録したことで、スタッフの皆さんが食育に対する意識を持ってきており、このことが一番大事なことであると思う。 また、食品ロスと共食を一緒にしたらどうかと考える。賞味期限ぎりぎりの食材を地域の人みんなで持ち寄り、散歩等のちょっとした運動後に集会所あたりで、それらを調理して食べるということができればいいかなと思いました。
委員 H	こどもがニコニコ笑って一緒にご飯を食べてくれることが一番の幸せと感じる。 里親もやっており、食事に欠けるようなお子さんも預かっているが、明日のご飯が食べられるか？と里親に聞いてくる子どもがいるということも考えながら、こども食堂等とかをそういう方に周知して、周りの方と協力して、進めて行ければと思います。
委員 I	自分は中山間部に住んでおり、共食について、5年前までは、公民館活動、婦人会活動として公民館まで歩いてきてもらっていたが、今では、その方々がデイサービスに行ってしまう、少なくなってしまった。 地域の共食は様々な団体全てが全体でそれに向かって進んでいくことが重要であり、また、素晴らしいことであるので、ぜひ実践していただきたいと思います。
委員 J	重点課題1で健康寿命の延伸につながるとあるが、福島県、いわき市の健康寿命はいくつくらいなのか？ 延伸につながることによって、いくつくらいまで伸ばしたいと考えているのかを知りたい。

事務局	いわき市の場合、脳卒中や心筋梗塞でお亡くなりになる方が大変多く、健康寿命も男性は山梨県が日本で一番であり、いわき市もそこを目指して、推進していく考えである。
委員 K	健康推進員としてですが、好間高校で食に関する選択授業を行った。全国の健康推進員で組織する日本食生活協会が選択授業を 30 名で行なわなければならないという決まりがあり、実際の授業では 17 名しかできなかったが、残りの 13 名は自分が赤井に住んでいることから、夜の部活帰りの生徒を公民館に来られる方を募集したところ 13 名の応募があり、公民館でも授業を行った経緯がある。 つどいの場についても行っているが、集会所の使用料や講師の方の謝金は負担するが、食べる分について、個人負担で行っている。 平窪は福祉のまちとしているが、高齢者と障がい者の方を集めて、アジサイ会（アジサイが咲く時期に行うため）を行っているが、行きたい人はバス停で待ってもらい、バスでの送迎を行っている。また、栄養士の方に献立を作ってもらい、ボランティアの方に入っていて、社協の方と協同で歌や体操を行っている。 子ども食堂も前にいわきで行っていたが、資金の問題で終わってしまったので、今後は続けてほしい。 市の備蓄品については、各地区で防災訓練を行う際に期限の切れそうなものをみんなに配布し、新しいものを購入して、備えておくということを行っている。
委員 L	食の安全も関連して、タイで福島県産の魚のイベントがあったが、実際はイベントができなかったとのことである。 これは現実的にまだ地元以外の人には福島県産を食べないということが起こっており、地元の人安全に食べられるということのアピールがもっと必要であり、これらを公にして、進めていただいて、他県の人に対する安心安全の広報を行っていただきたい。
委員 M	放射線のモニタリングの結果は現在も載せており、全て安全ではないが、正直に数値を出すことにより、より安全に繋がっていくことになると思います。福島県内においても、いわき市だけが毎月表示している。できる限り農林ニュースを見ていただきたいと考えており、ぜひ、活用していただきたい。 いわきの農産物について、日本橋の福島県のアンテナショップでイベントを行っているが、福島県産について、普通に購入している人が多く、怖がっている人は少ないと感じた。 ただ、アンケートで 10～20%の人が福島県産というだけで嫌

	厭するという現実もあり、今後も販売強化というのが、県農林事務所の宿命的な言葉になってくるのかと思う。
委 員 N	自身が所属する「いわき市アレルギーっ子交流会もぐのび」では、アレルギーに関して、幼稚園、小学校を困らせない親を作ろうということで進めているが、若いお母さんで例として、野菜スープ等のつくり方が分からない方が多く、アレルギーとは、また別のところで、食に関する基礎ができていれば、変な情報に惑わされなくてよいかと強く感じている。 また、関東圏のママたちは現在、同じ関東圏の食材より、検査を行っているいわき市の食材を購入していることが多いので、あまりいわきの人そんなにならなくてよいかと感じた。そういう声も挙げていけばよいと思う。
委 員 O	子育てについて、子だけでなく、個であったり、言葉の言であったり、幼稚園でのママ同士、情報交換しながら、いろいろ行っていると思うが、食に関する子育てを行う上で、何が良くて、何が悪いかな等のチェックシートがあれば（朝食やお弁当には何品入れればよいかな等）よいと思う。 保育所等には給食室があり、また、栄養士さんもおり、小学校では、給食センターがきちんとあるが、今後、そういったものを幼稚園等でも活用できるようになればいいと思う。 また、震災関連で現在も全国から支援をいただいております、京都の嵯峨野の幼稚園から多くの支援をいただいている。 幼稚園では、向こうがどのように受け取るかが懸念されるが、これまでのお礼として、福島県産のお芋などの食材をお送りしたい考えがあるので、それらが実現できればと思います。
委 員 長	その他何かありますか。
	(質問、意見等なし)

(2) その他

委 員 長	以上、本日、協議事項として挙げられた3件の議事についての協議は終了となるが、「その他」として各委員、事務局より何かあればお願いしたい。
事 務 局	今回で今年度は終了となります。来年度は3回を予定しておりますので、引き続きお願いいたします。 また、今年度をもって、職場の人事異動等により、替わられる方がおりましたら、事務局までご報告をお願いいたします。
委 員 長	他になければ、本日の案件はすべて終了いたしました。御協力ありがとうございました。

	(委員会終了)
--	---------